

第673回番組審議会報告

2022年11月1日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、佐藤友美子副委員長、川瀬慈委員、鯨岡秀紀委員
栗栖義臣委員、津村記久子委員、西村久美子委員、増山実委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田副社長、高山常務、酒井取締役、北野取締役、中野取締役、
山本局長補佐、西プロデューサー、本郷総合演出、
柴田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆議事の概要

テレビ番組「京都知新」について

毎週日曜日6時10分～6時25分放送

(2022年9月18日 陶芸家・松井利夫 9月25日 画家・鶴田一郎)

【番組概要】

～京都を温ねて新しきを知る～

2016年4月、『美の京都遺産』の後番組としてスタート。前番組は、京都の建築、行事、風習、風景など「コト」「モノ」を取材対象としていましたが、『京都知新』は、京都のアーティスト、職人、伝統芸能継承者、料理人など「人」にスポットをあて、不易流行、受け継いできた「技」「心」「美意識」と、その人の革新的な「新しい」取り組みにフォーカスする番組です。

【各委員の主な意見は次の通り】

*人にスポットを当てて深く本人に語らせるのがいい。松井さん、鶴田さんそれぞれの回で、本人が信念を持って取り組んでいる部分に光を当てて映像が構成されているところに引き込まれる。

*松井さんの回はすごく興味深くて、番組の作り方もきめ細やかだった。インタビューやナレーションで聞いただけではわかりにくい専門的な言葉もスーパーで短くわかりやすく解説し、とても配慮しながら作られていると思った。

* 15分は少し物足りないが、短いほうが取り上げられている人など物事を調べたりするきっかけになるかもしれないと思った。

* 番組が淡々と進み過ぎていて引っ掛かりがなく、見終わった時に余韻に浸る時間がないという印象を持った。

* 升毅さんのナレーションがすごくいい。本人のインタビューをそのまま使うのではなく、きれいな言葉でナレーションにしているのがすごく印象的だと思った。

* BGMで情緒過多な音楽が多用されていて全体的に音のレベルが高く、ナレーションや人物の声が聞き取りにくい箇所があった。BGMを全く使用しない箇所をもう少し増やした方が、視聴者がじっくり味わうような余白が生まれるのではないか。

* 今後はユーチューブに出していったり海外に展開するという話を聞いてなるほどと思った。京都はブランド力が大きいので、新しいチャレンジとしていいと思う。

* ユーチューブの外国語版は教材としても使えるのではないか。日本人にも需要があるだろうし、来日している外国人留学生向けの教材に使うなど、いろいろ展開できると思う。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

* 15分に編集することにより思い入れの部分がうまくいったりいかなかったりというところが出てくるが、それも一つの番組としてのデコボコかなと認識している。

* ユーチューブの外国語版は留学生や外国語を勉強している方にも届けたいので、今後は学校など連携して取り組んでいけたらと思う。

* 鶴田さんの回は説明できていない部分を映像と音楽でカバーし、かっこよければいいというところにシフトしてしまったという部分は反省点だと思う。

* BGMに関してはナレーションと極力バランスを取りながら作っているが、インタビューが聞こえにくいとすれば技術的な過ちなので注意して今後の番

組作りに反映させていきたい。

以 上